

その1 「相談しながら事業コンセプトをかたちにする設計会社」



株式会社
A1・ID設計
代表取締役 井戸正

弊社はアトリエ事務所と組織事務所を併せ持つ建築設計事務所です。その2つとは...
 ・アトリエ事務所の顔: 依頼主と同じ目線で考えられる心強い建築家によるこだわりのデザイン提案。
 ・組織事務所の顔: 仕事、人生観について「共に相談」することが出来るチームワーク。

建築は「先端技術を持った社会芸術」です。例えばコンクリートの発明により共同住宅が発展しそこから大空間の教会建築に発展しま

した(ル・コルビュジェの作品など)。技術革新を繰り返しながら社会に受け入れ利用される美しい建物を理想としています。これを可能にするのは明快な設計コンセプトがなければなりません。弊社は建築設計に対して2つの考え方を持っています。

今回はそのひとつ「建築設計の基本は住宅設計」について説明いたします。

私達の設計活動は中広いニーズに対応しています。例えば住宅、マンション、店舗、温泉施設、リニューアル、街づくり、建築全般の企画設計などです。事業目的の建築の場合、その目的をしっかりと捕らえ提案しなければなりません。特に企業の場合は担当部署の人、決定権のある人などハードルが複数あります、事業コンセプトがしっかりしていればハードルは低くなります。

弊社の住宅に対するコンセプトは「住むなら人生を楽しむ家」です。設計側のコンセプトは明快です、その上で住み手の人に言えない事情もヒヤリングしながら提案していく訳です。そして、土地の環境・家族の思いをコンセプトに置き換えひとつしかない家のテーマに作り上げます。家族といえ

ども人生観の違いがありま
す、家族が幸せに
なる器を

1つ作るわけですから、並み大抵の労力ではありません。住宅設計で培われた「人と話す=ヒヤリング+労力」体験があればこそ多様な用途の設計ができます、これはアトリエ事務所の顔のひとつでもあります。

これが、「相談しながら事業コンセプトをかたちにする。」ことができる理由です。事例として、東生駒につくりました。ピッツァレストラン「アルナッジョ」を紹介いたします。テーマは「懐かしい時間と空間の器」です。施主の声の一部を紹介すると



『A1・ID設計のみなさんは、親身に私たちの相談に乗ってくれました。特に、事務所の代表でもある井戸所長からは、経営に関するお話を聞かせてもらい、同じ経営者として良き先輩にであったような気がして、是が非でもこの人にお願ひしようと思ひました』
そして

現在1年たちますが大いに流行っています。



興味のある方はご案内いたしますので、連絡下さい。

(<http://www.a1-id.com>)

今回は組織でなければできない仕事の説明を致します。良い建築のできる条件

- ①いい施主
- ②いい建築家
- ③いい施工者です。

A1・ID設計の挑戦をご覧ください。
乞うご期待!



CONTENTS

◆ P 1 ◆ CIAO コンサルティングコラボレーション

◆ P 2 ◆ 専門家によるビジネスワンポイント

- 社長へのイエローカード 3 「ねんきん特別便」は届いてますか?
- 今どきの資金調達 3 (少人数私募債の発行)
- 企業発展に貢献 (経営者の目線で)

◆ P 3 ◆ 第3号のお勧め書籍 (ビジネス朝食会より)

◆ P 4 ◆ CIAO ワールドレポート (ザ・スティービー賞)

◆ P 5 ◆ レンタルオフィス・ビジネスセンター

◆ P 6 ◆ 販促ブランディング・ワークショップ研修会